

第30回日本老年医学会東海地方会

開催日：令和元年10月5日（土）

会 長：三浦 久幸（国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部長）

会 場：名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟A 3階講堂

〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町65

地 方 会：中央診療棟A 3階講堂

役 員 会：中央診療棟A 3階会議室

懇親会会場：生協食堂

TEL：052-741-2111（大代表）

－ お知らせ －

1. 当日の会費は1,000円です。
2. ポスターは発表時間4分、討論2分、合計6分です。
3. 愛知県医師会の生涯教育認定単位は3単位です。受付にてお申し込みください。
4. 会終了後懇親会を準備しておりますのでご参加ください（参加費 500円）。

老年病専門医・高齢者栄養療法認定医・老人保健施設管理認定医 更新のための単位登録手続きのご案内

専門医、あるいは認定医の方は、会期中に単位登録の手続きを行ってください。
受付にて、専門医カード、あるいは認定医カードをご提示ください。
「参加単位登録」「教育企画参加単位登録」は、同時に受付にて行います。
いずれも、登録後にその場で単位登録証明書をお渡しします。

地方会参加：7単位、発表者及び座長：2単位

教育企画（教育講演・シンポジウム）参加：3単位、発表者：2単位

※会期中に単位登録をしていただかないと、登録は認められません。

－ プログラム －

12:15～12:45 役員会：名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟A 3階会議室にて

テーマ：『これからの人生100年時代における高齢者に寄り添う医療』

13:00～13:05 開会挨拶 会長 三浦 久幸(国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部長)

13:05～13:45 教育企画 『認知症診療における患者中心の医療とは』

座長：植村 和正(愛知淑徳大学 健康医療科学部 教授)

演者：栗田 主一(東京都健康長寿医療センター研究所
自立促進と精神保健研究チーム 研究部長)

13:45～14:30 ポスター発表

14:30～14:40 休 憩

14:40～16:40 シンポジウム 『人生100年時代におけるアドバンス・ケア・プランニングの意義』

座長：三浦 久幸(国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部長)

14:40～15:10 1. 「国内外のACPの動向」

演者：千田 一嘉(国立長寿医療研究センター 臨床研究企画室長)

15:10～15:40 2. 「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドラインとACP

～特に法的側面から～」

演者：稲葉 一人(中京大学 法務総合教育研究機構 教授)

15:40～16:10 3. 「広島県地对協におけるACP普及の取り組み」

演者：本家 好文(広島県健康福祉局がん対策課 緩和ケア推進監)

16:10～16:40 4. 「ACPが実践できる人材育成と地域づくり～愛知県の取り組みからの報告～」

演者：後藤 友子(国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部 研究員)

16:40～17:30 特別講演 『成熟社会の課題－現代の高齢者は幸せか－』

座長：葛谷 雅文(名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学 教授)

演者：井口 昭久(愛知淑徳大学 教授)

17:30～17:35 閉会挨拶 武地 一(藤田医科大学医学部 認知症・高齢診療科 教授)

◆ 介護支援専門員によるACP実践の3事例

医療法人鴨和会 井上医院ケアプランセンター ○ 牧野 こずえ
一般社団法人愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会 熊谷 泰臣 榎田 あおい 中野 好美

【グループC：リハビリ】 座長：芳野 弘（藤田医科大学医学部 認知症・高齢診療科）

◆ 地域在住高齢者における、放送メディアを活用した非監視下プログラムの効果—名古屋大学TENG-projectより—

名古屋大学 未来社会創造機構 ○ 藤田 康介 井上 愛子 宇野 千晴
名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学 黄 継賢 梅垣 宏行 大西 丈二
葛谷 雅文

◆ 化学療法実施中に低強度のリハビリを行った高齢造血器腫瘍患者の変化

小山田記念温泉病院 リハビリテーション科 ○ 恒矢 保範 柳原 一也 山本 航成
富井 敬太 荒木 大地 水谷 祐哉
伊藤 寿収 中村 高康 水谷 真康
野田 阿由美

◆ 環境調整や反復練習により上がり框の昇降動作を獲得した症例

国立長寿医療研究センター リハビリテーション科 ○ 伊藤 陽子 鈴木 彰太 伊藤 圭
生川 理恵 長濱 大志 前田 夏海
伊藤 直樹 近藤 和泉

◆ 地域在住高齢者における身体機能・活動量と運動学習能力の関係

上飯田リハビリテーション病院 ○ 長谷川 多美子
偕行会リハビリテーション病院 伊藤 良太
旭労災病院 川路 具弘
名古屋大学大学院医学系研究科 長谷川 隆史 内山 靖

◆ リハビリテーションプログラムにより生活行為の変容と家族負担度が軽減した物忘れ外来受診患者2症例

藤田医科大学病院 リハビリテーション部 ○ 松田 莉奈 加藤 ちなみ 大河内 由紀
藤田医科大学医学部 リハビリテーション医学I講座 大高 洋平
藤田医科大学保健衛生学部 リハビリテーション学科 鈴木 めぐみ 前田 晃子
藤田医科大学病院 医療連携福祉相談部 鈴木 千穂
藤田医科大学医学部 認知症・高齢診療科 松永 慎史 芳野 弘 武地 一

◆ 高齢者の歩行器使用時の主観的快適負荷刺激量と歩行パフォーマンスへの影響

名古屋大学大学院医学系研究科 リハビリテーション療法学専攻 ○ 佐藤 和香子 長谷川 隆史 内山 靖

【グループD：高齢者糖尿病】 座長：藤沢 知里（名古屋大学医学部附属病院 老年内科）

◆ サルコペニアと過活動膀胱との関連性：高齢糖尿病患者を対象とした横断研究

伊勢赤十字病院 糖尿病・代謝内科 ○ 井田 諭 村田 和也 大久保 薫
白倉 由隆 今高 加奈子 金児 竜太郎
東 謙太郎 藤原 僚子 高橋 宏佳

◆ 糖尿病患者の歩行自己効力感と身体活動量や歩行・バランス機能との関連

北里クリニック リハビリテーション科 ○ 濱島 一樹 加藤 桂介 矢口 敏章
医療法人喜光会 北里クリニック 船橋 益夫
愛知みずほ大学大学院 人間科学研究科 佐藤 祐造

◆ 認知症を合併した高齢糖尿病患者の管理について

名古屋大学医学部附属病院 老年内科 ○ 藤沢 知里 梅垣 宏行 渡邊 一久
葛谷 雅文

◆ 自己管理能力の判断に難渋した高齢糖尿病患者の一例から考える多職種連携

AOI名古屋病院 看護部 ○ 片岡 ちはる 徳田 美和子
名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学 渡邊 一久
AOI名古屋病院 内科 松井 香菜子 三島 信彦
名古屋大学大学院医学系研究科 皮膚病態学 渡邊 直樹

◆ 低栄養と認知症の関わりー有料老人ホームでの調査からー

有料老人ホームグリーンヒルズケア相生
医療法人喜光会 北里クリニック
愛知東邦大学
愛知みずほ大学

○ 佐藤 洋
濱島 一樹
榊 直樹
佐藤 祐造

【グループE：老年症候群】 座長：大西 丈二（名古屋大学医学部附属病院 老年内科）

◆ 左上大静脈遺残を伴う洞不全症候群に対し永久ペースメーカ植込み術を施行した高齢女性の一例

国際医療福祉大学熱海病院 循環器内科

○ 瀬川 知 重政 朝彦 駒村 和雄
永嶋 善幸 所 卓見

◆ 非薬物的介入が奏功した高齢者医療における精神科リエゾンの事例紹介

国立長寿医療研究センター 精神科

○ 南 ひかる 南 博之 岡田 佑介
安野 史彦 服部 英幸
国立長寿医療研究センター 循環器内科
川島 一博
国立長寿医療研究センター 老年内科 佐竹 昭介

◆ The associated risk factors of social frailty

名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学
名古屋学芸大学 管理栄養学部

○ 黄 継賢 宇野 千晴 葛谷 雅文
岡田 希和子 松下 英二
国立長寿医療研究センター フレイル予防医学研究室 佐竹 昭介

◆ 高齢独居の在宅酸素療法施行症例の在宅療養が困難となった時の諸問題についての検討

刈谷豊田総合病院 呼吸器・アレルギー疾患内科

○ 加藤 聡之

◆ じん肺健診受診者の体組成と身体機能の関係

旭労災病院 中央リハビリテーション部
旭労災病院 呼吸器内科

○ 川路 具弘 藤代 国幸 田中 利明
加藤 宗博
名古屋大学大学院医学系研究科 長谷川 隆史 内山 靖

【グループF：多職種連携・意思決定支援】 座長：小宮 仁（名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談センター）

◆ ACP実践力のある人材育成のためにー愛知県医療ソーシャルワーカー協会の取り組みー

愛知県医療ソーシャルワーカー協会

○ 小林 哲朗

◆ 医療機関とケアマネジャーの連携強化～多職種意見交換会からの気づき～

海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター
愛知県看護協会

○ 近藤 剛弘
峯田 幸美
愛知県医療ソーシャルワーカー協会 末藤 和正

◆ 医療・ケアの説明とその反応・理解に関する情報を多職種で共有して協働するトランジショナル・ケアのためのICTツールの開発

国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部

○ 千田 一嘉 和田 忠志 三浦 久幸

◆ 非癌の終末期にある患者への退院支援 ～思いが異なる患者家族にどのように向き合い支援していくか～

国立長寿医療研究センター 看護部

○ 住江 浩美

◆ 癌ターミナル患者への入退院支援チームとしての関わり

国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域連携推進部地域医療連携室

○ 山田 小桜里

◆ 施設入所に伴う減薬を契機にパーキンソン症状増悪から誤嚥性肺炎を来した一例

国立長寿医療研究センター 老年内科

○ 星 和宏 佐竹 昭介 西原 恵司
山本 有巖 川嶋 修司 加納 優
大仲 将美 遠藤 英俊 荒井 秀典
国立長寿医療研究センター 神経内科 中野 真禎

【グループG:症例・その他】 座長：長谷川 潤 (A01名古屋病院 内科)

- ◆ レボドパが有効であった高齢発症パーキンソンニズムの一例
名古屋大学医学部附属病院 老年内科 ○ 史 榕茜 柳川 まどか 葛谷 雅文

- ◆ 初感染のサイトメガロウイルス肝炎を併発した血清反応陰性関節炎の1例
名古屋市立西部医療センター 総合内科 ○ 井上 陽平 菊地 基雄
名古屋市立西部医療センター 消化器内科 妹尾 恭司

- ◆ 老年内科と精神科の連携による向精神薬の減量の取り組み
～抗コリンリスクスケール (Anticholinergic Risk Scale; ARS) の観点から～
国立長寿医療研究センター 老年内科 ○ 大仲 将美 遠藤 英俊
国立長寿医療研究センター 精神科 南 博之 南 ひかる

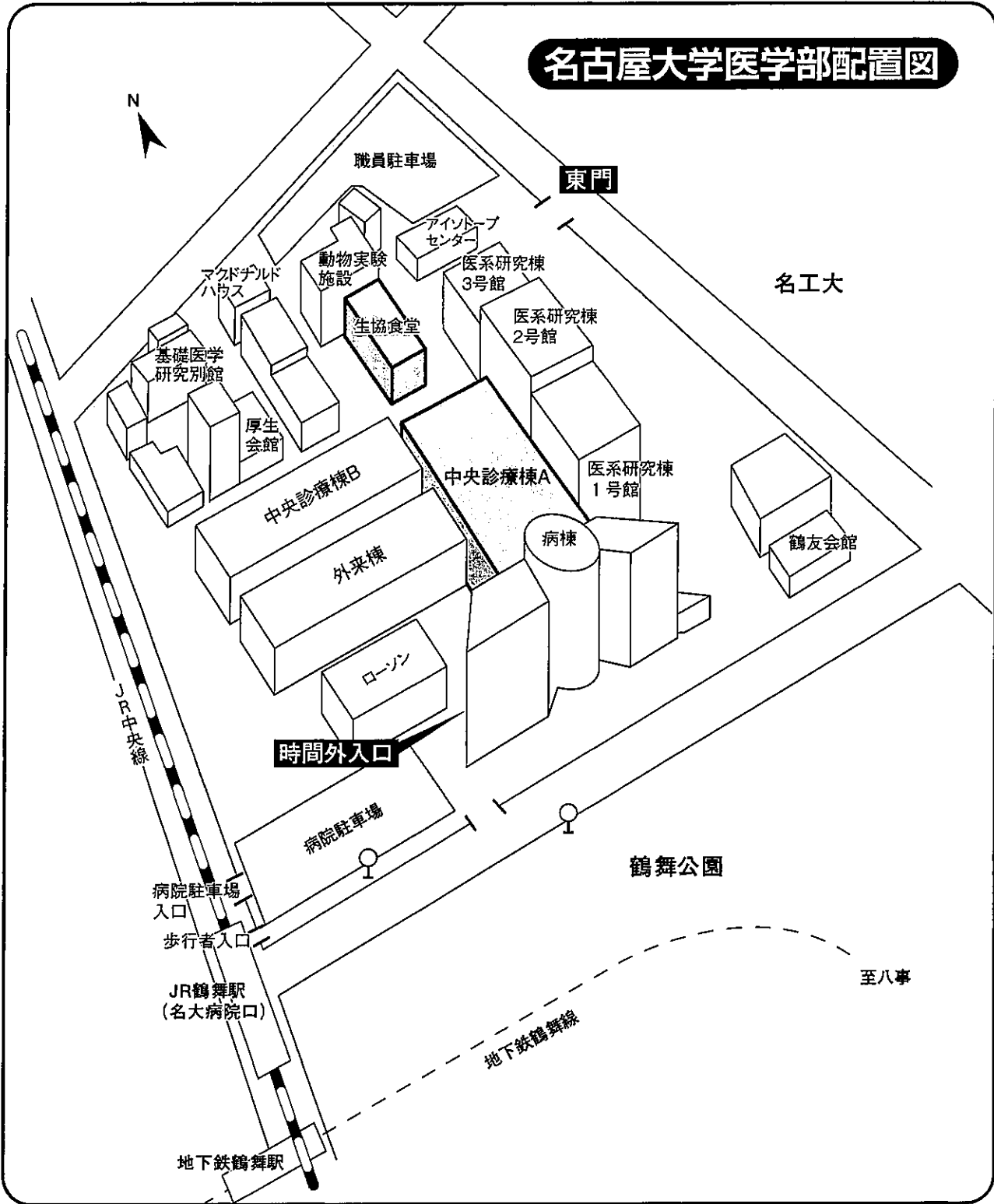
- ◆ 当科の薬剤総合評価調整加算の実情と管理ツールの作成
名古屋大学医学部附属病院 老年内科 ○ 三溝 啓 梅垣 宏行 葛谷 雅文
名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 松原 匡希

- ◆ ベンゾジアゼピン系抗不安薬の薬物有害事象により、握力低下と歩行速度低下をきたした一例
国立長寿医療研究センター 老年内科 ○ 西原 恵司 山本 有澈 川嶋 修司
佐竹 昭介 遠藤 英俊 荒井 秀典

- ◆ 名古屋大学老年内科入院患者におけるBarthel Index各項目と退院先の関連
名古屋大学医学部附属病院 老年内科 ○ 長永 真明 大西 丈二 葛谷 雅文

- ◆ Deficiency of CysteinyI Cathepsin K Suppresses the Development of Experimental Intimal Hyperplasia in Response to Chronic Stress
名古屋大学大学院医学系研究科 ○ 井上 愛子 孟 祥坤 朴 麗梅
成 憲武 葛谷 雅文

名古屋大学医学部配置図



名古屋大学医学部附属病院（中央診療棟A 3階）

- ① JR 中央本線・鶴舞駅（名大病院口側）下車徒歩 3 分
- ② 地下鉄（鶴舞線）鶴舞駅下車徒歩 8 分
- ③ 市バス栄 18 系統（栄⇄妙見町）で「名大病院」下車スグ

※駐車場は外来患者様用駐車場のみとなります。（有料）
 ※公共交通機関をご利用ください。
 ※時間外入口より入場ください。